

特選
金融担当
大臣賞

2022

第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

紅茶から考える自分の将来

東京都・大妻中野高等学校 1年 佐々木 ことみ

紅茶を飲んでいるとき、ペットボトルのラベルに目がいった。ラベルには、「本商品の1本につき3.9円が熊本の復興応援のために活用されます。」と書かれてあった。このプロジェクトは今まで知らなかったが、興味を持ったので商品について調べた。この紅茶は売上1本につき3.9(サンキュー)円を熊本復興応援のために活用するだけでなく、熊本県産いちごである「ゆうべに」や熊本県産紅茶葉を使用することで熊本県の魅力を全国に発信する、というものであった。このプロジェクトは昨年も行っており、2021年12月には合計3,870万4,630円を寄付し、令和2年7月豪雨の被災者への支援や熊本の食産業支援に活用された¹⁾。

私は、この取り組みは人々にとって重要であり、継続するべきだと考える。また、すでに行っている企業も多くあるが、このような取り組みは他の企業でも広げていくべきだと考える。なぜなら、三つのメリットがあるからだ。

一つめは、「気軽」な点である。実際、自分がこの紅茶を買ったのは、紅茶が好きで飲みたいと思ったからである。寄付をすることを意識して買ったわけではないが、結果的に寄付をしている。私のように、偶然手に取った商品から被災地・被災者の支援に貢献することができる人も、消費者の中にはいるはずだ。また、寄付を目的に購入するとしても、ペットボトル1本分程度ならば気軽に繰り返し行うことができる。自然災害による非常に大きな被害に対して、個人力で解決することが困難だとしても、このような小さな行動一つひとつが大きな支援に繋がり、解決のための一歩となる。

二つめは、「地域活性化」を推進できる点である。この紅茶には熊本県産の作物を使用しており、地元で復興作業に取り掛かっている人々の思いが商品を通して全国へ運ばれる。地元の作物を復興のために活用することで、熊本という地域をさらに活気づけることが可能である。そして、熊本の作物に対する関心が高まったり、さらにそれを購入する消費者が増えたりすると考えられる。国内の農産業

や経済を活性化させるためにも、この取り組みは効果的である。

三つめは「視野を広げられる」点である。紅茶のプロジェクトは、熊本で復興のために活動する人々と紅茶の消費者の双方ともに利益があると知ることができた。また、遠く感じる被災地へ支援が届くという魅力的な取り組みだと感じた。しかし、それと同時に令和2年7月豪雨という、当時は衝撃的だった災害を自分が忘れかけているように感じ、危機感を覚えた。この豪雨だけではなく今まで自分が経験してきた災害も、どこか記憶から薄れて隅のほうへ行っていると感じた。自分は被害を直接受けていないため、被害を受けた人の立場になりきれていないのかもしれない。また、最近は国際的に大きな影響を与える出来事が多く、現状に手一杯になっているのかもしれない。もちろん自然災害だけを考えることは正しいとは言いがたい。しかし、近年自然災害は増加しており、注視せざるを得ない状況にある。それは国内の経済にも悪影響を及ぼすものであると考え、自然災害について調べた。

中小企業庁出典の我が国の自然災害発生件数及び被害額の推移によると、自然災害の発生件数は変動しながらも増加傾向にある。被害額は、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大規模な災害が発生したときに、特に多く推移している。また、「1時間降水量50mmを上回る大雨の発生件数がこの30年間で1.4倍に増加している」とのデータもあり、この先自然災害やそれによる被害が頻発すると考えられる²⁾。

さらに日本の国土は、災害を受けやすいという特徴がある。災害を受けやすい要因は二つあり、一つは「洪水・土砂災害が発生しやすい」点である。山地の多い日本では、河川が世界のものと比較して急勾配であり、雨が山から海へと一気に流れる。そのため梅雨や台風による大雨の影響を受けやすい。もう一つは、「地震・火山活動が多い」点である。日本は、地震や火山活動が活発な環太平洋変動帯に位置し、世界にあると言われている約1,500の活火山うち、日本にはその約1割が集中している³⁾。大雨も地震も甚大な被害を与える自然災害であるからこそ、災害への対策や被害を最小限に抑える努力が必要不可欠である。被害を受ける人々やそのダメージを軽減することで、生活が困難になる人々を減らし、復旧までの費用や時間を抑えることができる。

このような自然災害が増加する原因は、主に地球温暖化の影響による気候変動

であると考えられる。地球温暖化は世界で起こっているものであるため、国内での問題も国際的に共有されていると言える。紅茶の取り組みでは、熊本のため、国内の食産業のためと考えていたが、結局は世界規模で考える必要があると感じ、自分の視野が広がった。

今、お金の知識が浅い私にできることは小さいことかもしれない。しかし、経済や金融について興味を持ち、その知識を深めることで人を助けることができるのではないかと感じた。私はこれまでやりたいことや職業を具体的に考えることができず、将来の夢を決められないでいた。この小論文を通して人のためになる行動は様々な形があることを改めて感じ、自分の将来についても考えることができた。将来は、経済や金融について学んでその知識を活かし、世界にも目を向けて困窮している人々を間接的にでも助けられるような仕事がしたいと思った。現在、世の中は新型コロナウイルスという大きな問題に直面しているが、この先それよりもはるかに大きな問題が現れるかもしれない。しかし、そのような問題に対して小さな力でも挑戦し、乗り越えられるような知識や力を身に付けていきたい。

(注)

- 1) キリンホールディングス『『キリン 午後の紅茶 for HAPINESS 熊本県産いちごティー』を6月21日(火)より数量限定で新発売』
URL https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2022/0527_01.html
閲覧日 2022年8月17日
- 2) 中小企業庁「2019年版中小企業白書『第3部 中小企業・小規模企業経営者に期待される自己変革』」
URL https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2019/2019/html/b3_2_1_2.html
閲覧日 2022年8月26日
- 3) 国土交通省「国土交通白書2020」
URL <https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r01/hakusho/r02/html/n1115000.html>
閲覧日 2022年8月26日

